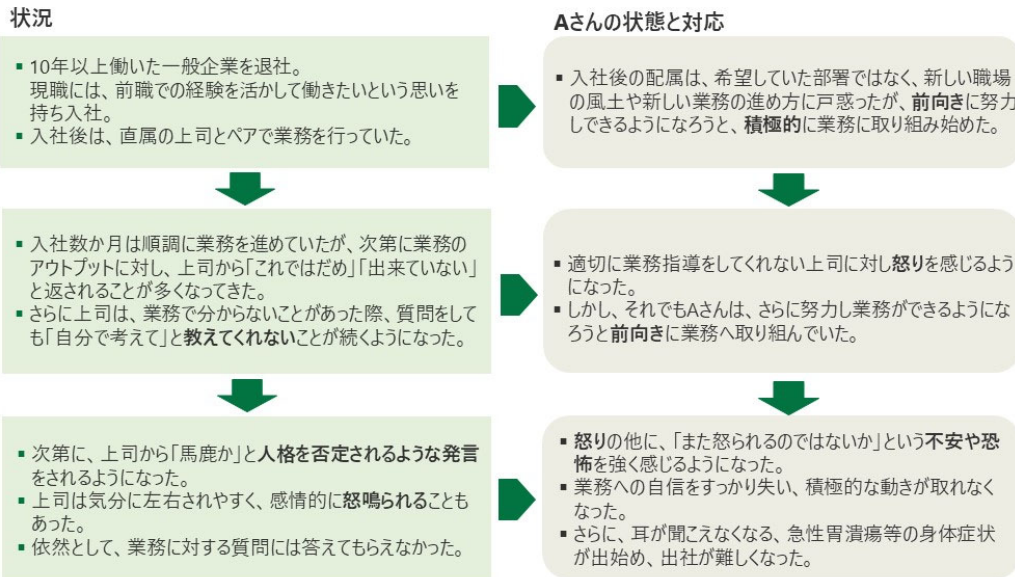


パワハラ具体的な事例

■ Aさん(30代女性)の例

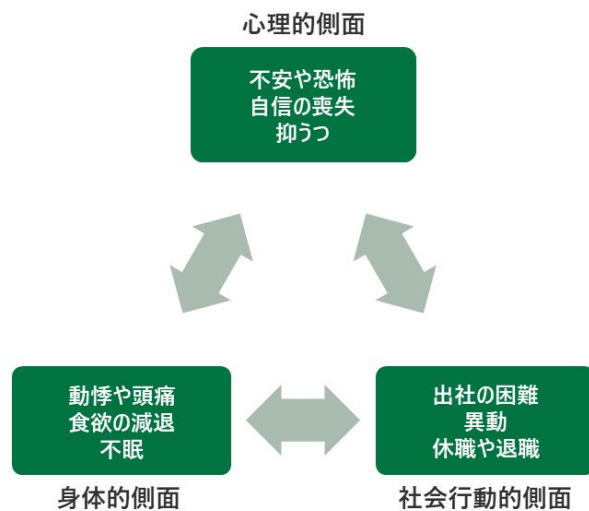


©2020 PEACEMIND Inc. All rights reserved.

【図 1】パワハラ相談事例(Aさん・30代女性)

※当社への相談内容を基に、プライバシーを配慮して修正を加えてまとめています。

本事例は、前向きな気持ちで中途入社したものの、気分が左右されやすい上司からパワハラを受け、業務が進めにくくなった女性の事例です。



©2020 PEACEMIND Inc. All rights reserved.

【図 2】ハラスメントによる心身への影響

一般的に、ハラスメントは心理的側面、身体的側面、社会行動的側面において、重大な悪影響を与えられているとされていますが、今回の A さんも、恐怖や不安、自信の喪失という心理的側面への影響や、耳が聞こえない、急性胃潰瘍などの身体的側面への影響、その結果出社が難しくなるなどの社会行動的側面への影響が発生するに至りました。このように、パワハラが従業員に与える影響は、非常に大きく深刻なものであることが分かります。

【Aさんのその後】

その後 A さんは、ピースマインドの EAP カウンセリングを訪れ、自身の状況に対する相談を開始しました。EAP カウンセリングでは、医療機関を紹介しつつ、A さんの心を守るための対処法や、A さん自身の課題（新業務に不慣れであることなど）への向き合い方を検討したり、当該上司のさらに上司と連携し対応方針を検討したりすることで、問題の解決を図りました。

そして、A さんと当該上司の間に人を入れるなどの環境調整をしたり、上司の何が苦手かについての自己理解を促していく中で、次第に A さんの症状は落ち着き始め、徐々に業務へ復帰できるようになりました。